

A:アンケート：今回の園小架け橋研修はいかがでしたか？



## 【園関係者】

### 1 リアルな悩みへのアプローチ

- ・園小架け橋研修では、小学校1年生のリアルな悩みを聞くことができました。これは貴重な情報であり、子どもたちのニーズに適切に対応できる重要なステップです。

### 2 小学校生活の理解

- ・最初の1週間で子どもたちが小学校でどのように生活しているかを知ることができました。これは教育現場において実際の状況を把握する上で重要な視点です。

### 3 先生方との情報交換

- ・小学校の先生方の考え方や思いを知ることができ、様々な情報交換ができました。これは教育コミュニティの連携を強化する上で有益です。

### 4 意見交換と深い伝達

- ・先生方との意見交換を通じて、子どもたちの様子をより深く伝えることができました。学校始まりの様子を知ること、教育プログラムの改善に寄与できるでしょう。

### 5 楽しさとワクワク感

- ・鈴木先生のお話を聞き、1時間目に楽しいこと（こども園でのダンスや歌）をしても良いと感じました。子どもたちはワクワクすることで、学習意欲を高めることができるでしょう。



## 【小学校関係者】

### 1 意見交流と引継ぎの機会

- ・園小架け橋研修では、ブロックごとに意見交流ができ、園での様子や活動の引継ぎも行えました。これは円滑な情報共有につながり、良い機会となりました。

### 2 遊びや好みの理解

- ・園でしている遊びや子どもの好みなどを聞くことができ、入学後の2週間でどのような活動をすれば良いかのイメージがつかえました。

### 3 幼児教育の視点

- ・幼児教育の要素を理解し、指導することの重要性を感じています。自然な学びを大切に、特に1年生にはそのような学び方を促したいと考えています。

### 4 カリキュラムの具体的な話

- ・今年度からスタートするカリキュラムの具体的な話を進められたことは大きな進歩です。安心できるスタートを切るためにも重要な情報です。

### 5 先生方との情報交換

- ・園の先生方との交流を通じて、子どもたちの様子や他の小学校の先生との共通理解が得られました。必要な研修であると感じています。

A:アンケート：今日の研修会の感想や学んだこと、気付いたこと等記入ください。



## 【園関係者】

### 1 小学校スタート時のつまずきの理解

- ・小学校スタート時の子どもたちのつまずきに気付くことができました。具体的な経験や違いを詳しく共有できることは良かったです。

### 2 小学校生活の理解と保育への応用

- ・研修会を通じて、小学校入学当初の子どもたちの生活やスケジュールを理解できました。これを元に、保育でどのようにサポートできるか考えていきたいです。

### 3 小学校の先生方との接点

- ・小学校の先生方との交流を通じて、子どもたちの期待と不安を理解し、安心して生活できる方法を考えることができました。

### 4 小学校生活のイメージ化

- ・小学校での生活をイメージしやすくなりました。園での取り組みや情報共有が有意義であったと感じています。

### 5 園と小学校のギャップと保育の工夫

- ・園と小学校のギャップを認識し、遊びやゲームを通じて子どもたちが必要なスキルを楽しみながら学べる保育を考えていきたいと思いました。



## 【小学校関係者】

### 1 1年生担任の大きな仕事

- ・こども園から小学校への入学は子どもたちにとってわくわくと不安が入り混じった大変な過程です。1年生担任は「小学校は楽しい所」という感覚を最初に刷り込む大きな仕事を担っていると思いました。

### 2 具体的なスタートカリキュラム30

- ・「スタートカリキュラム30」は具体的で、最初の2週間のカリキュラムを立てる際に分かりやすい指針となりました。

### 3 こども園から小学校への指導

- ・入学式の次の日からの活動内容を見直す必要性を感じました。朝の時間を楽しく過ごすことで「学校は楽しいな」「明日も行きたいな」という気持ちを育てたいと思います。

### 4 安心感と楽しい学校生活

- ・入学式の次の日からの活動内容を見直す必要性を感じました。朝の時間を楽しく過ごすことで「学校は楽しいな」「明日も行きたいな」という気持ちを育てたいと思います。

### 5 連携とアセスメント思考

- ・園と小学校の連携を継続し、アセスメント思考を持ちながら児童の困りごとを共有し、ソフトに小学校で着地できるようにしたいと考えました。